

会員の皆様、いかがお過ごしですか？

今回も前回に引き続き、第5回ピアカウンセリング全国大会の感想をお届けします。

全国各地で活躍している仲間と交流し、ピアっこになろうとした動機を再確認し、同時にこれからの活動への意欲を高められたようです。これからの活動が楽しみです。

◆「第5回ピアカウンセリング全国大会」第2報◆
～アイシテル～4つのアイ～

◆第5回思春期ピアカウンセリング全国大会 in 熊本に参加して◆

東京都 U-COM 鈴木みさき (ピアネーム:すず)

第5回思春期ピアカウンセリング全国大会に参加して、改めてピアカウンセリング活動が全国的な活動であるということ、同じ志を持った仲間が日本中にいるということを感じることができました。今回、U-COM (東京) からの参加はひとりだけでしたが、全国の仲間が暖かく受け入れてくれ、安心して、2日間の全国大会を心から楽しむことができました。全国各地から集まったメンバーがすぐに垣根なく打ち解けることができたのも、相手の気持ちに寄り添うというピアカウンセリング活動をしているピアっこが集まっているからこそののかなと感じました。

他県のピアっ子と交流の中で、同じような活動をしていても、伝え方や表現の仕方が異なっていたり、それぞれの都道府県独自の活動を組み込んだりしていることを知り、今後の自分たちの活動において、参考にしたいと思う部分がたくさんありました。また、活動を行う上での課題や不安な気持ちなども共有することができ、同じように頑張っている仲間がいるということに喜びを感じました。さらに、ピアっ子たちのピアに対する熱い思いを聞いたことは、大きな刺激であり、自分の中のモチベーションもすごく高められました。今回の全国大会で出会った仲間とは、今後も情報共有などをして、交流を続けていきたいと思えます。

今回の全国大会で得た多くの学びは、活動拠点である東京に戻ってからもU-COMのメンバーと共有し、今後の活動に生かしていこうと思えます。そして、全国のピアっ子の一員として、ピアの活動をもっともっと広めていきたいです。



兵庫県 平岡加奈子 (かなえ)、政田美波 (みーこ)、辻本ゆめこ (ゆめこ)

今回、全国ピアに参加して本当によかったと感じました。全国で同じようにピアっ子として活動している仲間に出会え、それぞれのピアへの思いや考えを共有でき、自分の中のピアへの考えをより深めることや今までになかった考え方を得ることができ、視野を広げることができました。

全国から集まったピアっ子は、あっという間に打ち解け温かい雰囲気となりピアの力を感じました。大学生以外にも社会人の方々がたくさん集まり、ピアにはたくさんの魅力とパワーがあることを改めて実感できました。たくさんの人との交流を通して、自分にとってのピアとは何か、私たちは中高生に何を伝えたいのか、これからピアっ子としてどうしていきたいのか、ということを考えさせられました。兵庫ぴあに所属しているものの大学が京都のため、なかなか実際にピア活動を行えていなかった私たちにとって、改めてピアについて考えるきっかけとなり本当にいい経験となりました。

実際に行ったプログラムや交流を通して知ったエクササイズなどは、私たちの知らないものがたくさんありました。全国ピアだからこそ、各県の活動を知り、たくさんの刺激を受けることができたと思います。兵庫ピアとしてだけでなく、京都ではピア活動が広がっていないため、私たちが先頭をきって活動を広めていきたいと思いました。

2日間を通して、改めてピア活動を行っていてよかったと感じ、ピアへの思いがより一層強くなりました。また、全国のピアっ子と交流して感じたこと、考えたこと、ピアの魅力やパワーをたくさんの人に伝えたいと感じました。今回出会った仲間との繋がりを大切に、私たちのできること、伝えたいことを全国の仲間たちと今後、ピアの力を発揮し活動を頑張っていきたいと思います。

鳥取県 Peer in heart 三木夏生(ピアネーム：なっちゃん)

くまぴあさん、今回のピア全国大会の準備運営、本当にお疲れ様でした。どのプログラムも魅力的でとても心がこもって暖かいものでした。一生懸命企画し準備して下さったことがひしひしと伝わりました。

全国大会は、各県のピアエデュケーションの内容や困っていることなどを報告書しあい、自分の拠点地のエデュケーションと比較して、今後のピアのあるべき姿を検討したり、今後の課題の発見やエデュケーションの多様な方法を知ることができるチャンスがあることが醍醐味となっていると思っています。鳥取では、各校の要望には応じているものの、大抵同じ台本を使っていて、エデュケーションにマンネリ化がみられていたり、偏った方向に活動が向いているのではないかと活動を客観視することが不十分であったりするため、新しい介入方法や新しい視点・意見を求めて、他県ピアっ子とセッションしました。とっても刺激になります。

全国大会の開催はわずか2日間でしたが、日本中のピアっ子との出会いは、その場だけの関係に留まることはありません。例えば Facebook などの SNS を通してピアの活動を報告し合ったり、プライベートな内容も共有し合ったりして、仲間の輪が全国に広まっています。全国の仲間たちとピアのスキルアップができる、こんなにも素晴らしい機会が、ぜひずっと開催され続けて欲しい！と願っています。先輩ピアとしてこれからも参加したいです★

香川県 兼岡由夏（ぴあネーム：ゆうー）

今回、初めて思春期ピアカウンセリング全国大会に参加させていただいた。2年前に、お話を聞いて参加したいと思っていたが、そのときは、1年生で一人で参加するのは怖かったために参加できなかった。今回、縁があり学校の先輩も参加したいということで実習中であったが参加した。実際に参加し、様々なことを学び共有することができ、いい刺激になった。

まず参加して思ったことは、全国のピアっ子は積極性があるということだ。全国のピアっ子は明るく、初対面のはずなのにまるで今までにも話したことがあるかのように自然と打ち解けられ、すぐに仲良くなれるほどの積極的に話しかけていた。また、グループ内での話し合いでもファシリテータの役割やピアのスキルの一つ“傾聴”を自然とみんな使っているなど感じた。

また、参加したことによりピアについて改めて考えさせられた。1つ1つのセッションのなかで“ピアとは何か”や“なぜ、ピアをしようと思ったか”などいろいろなテーマで話し合っている中でもみんな考えていることは同じですごくいいなおもった。この時、私は、“ピア＝仲間”という言葉がうかんできた。全国いろんな場所でピアについて学んできた仲間が考えていること・思っていることが一緒ということは素晴らしいことだと思った。

最後に、今回学んだことを香川のピアっ子に伝え、香川ピアに生かしていきたいと思う。また、2年後の福島大会にも参加したいと思う。

鹿児島県 ピア☆ぴあ☆かごしま作田 千尋(ピアネーム:さく)

今回鹿児島から全国ピアに参加した私を含めた6人全員が初参加なので、全国ピアとはどんな活動をするのか、心待ちにしていました。

まず最初は、自分達の地域のピア活動について発表し合いました。どういうところに焦点を当ててピア活動を行っているかなど、知ることができて面白かったです。

「Share the Story」はすごろくをしながら、自分のことや自分たちのピア活動についてさらに詳しくグループ内で話し合うことができ、充実した1時間30分でした。

矢部 絹子さんの講演では、「聴く」ことの大切さについて、再認識できました。誠意を持って話を聴くということは相手と信頼関係を築くのに大事なことだと感じ、これはピア活動をする上で、必要なスキルだと思いました。

「ワールドカフェ」は、ピアについてより濃厚な内容の話ができたと思います。いろんなグループを回りながら、グループ内で対話をしていくことで、ピアについて、自分の中で改めて向き合い、考えることができました。「自分にとって、ピアとは？」と聞かれると、以前だと少し詰まってしまうところもあったと思います。でも、ピアについての自分の考えを言葉にすることで、整理ができ、自分の中にこんな考えがあったのかと気付くところもありました。ワールドカフェを通して、自分の中のピアというのがより形をもったと思いました。

対話の内容を手元の模造紙に書くことで、自分が回っていないグループがどんな内容を話したのか、自分が回ったグループで、新たにどんな意見がでたのかなどを後で見ることができて、話が膨らんで、話したりないほど、面白かったです。

池袋 真さんの講演は、笑いもありつつ、「LGBT」について勉強になることが多かったです。私達も LGBT についてもっと認識を深めて、それをピア活動で伝えられるよう頑張りたいと思いました。

この全国ピアでは、ピアについてより深く考えることができました。また、秋田・福島・栃木・東京・兵庫・鳥取・香川・愛知・愛媛・熊本と私達鹿児島県の全国 11ヶ所からピアっ子が集まって、いろんな話ができて、楽しかったです。

これからもピアが続いていくように私達も頑張りたいと思った 1泊2日でした。

一般社団法人日本家族計画協会 大野 聡

思春期ピアカウンセリング全国大会は 2 年前の東京開催に続き、今回で 2 回目の参加でした。私は東京の日本家族計画協会に集まって活動する「JFPA 若者委員会 (U-COM)」のピアっ子たちをサポートしています。今大会では全国 10 都県から集まったピアっ子たちのそれぞれの特徴ある活動を知ることができ大変刺激になりました。会場へ移動するバスの車内では早くも各地のピアっ子同士の交流がはじまり、すぐに打ち解け合っている姿は見て、さすがにピアっ子だなと感心しました。

今大会では 2 名のゲスト講師の講演がありました。矢部絹子氏からは自身のテレビ局時代、キャリアカウンセラー時代の体験を交えて「傾聴の勧め」を語っていただきました。福岡大の池袋真氏からは「性同一性障害 (GID)」について自身のライフヒストリーや、カミングアウトの経験を聞くことができました。お二方のお話にはピアっ子が思春期ピアカウンセリング活動に活かせるヒントが多々あったと思います。

プログラムは講演以外にもグループワークの時間が多く設けられていました。会場の阿蘇の雄大な自然ときれいな水と空気、そしておいしい食事のおかげも手伝って、皆おおらかな気持ちでリラックスしてプログラムに取り組んでいたように見受けられました。グループワークではピアっ子同士、自身が活動する意味や可能性について真剣に対話を重ねていた姿が印象的でした。ピアっ子一人一人が学んだことを持ち帰り、各地域の思春期ピアカウンセリング活動をより活発にしてくれることを期待します。私もピアっ子に負けないう、サポートを頑張っていきたいと思いました。

今大会の準備と運営にご尽力いただいたスタッフの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。今回は東京のピアっ子 (U-COM) の参加が少なかったため、次回福島開催ではぜひ大勢で参加できたいなと思います。

<編集後記>

次の全国大会は福島県に決定しました。今回以上の多くのピアっ子が集まれるように、養成者の皆様、旅費等の積み立ての計画のご準備をお願いします。



日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門
電話 0285-58-7338
FAX 0285-44-7217
発行人 高村寿子 編集人 前田ひとみ
年3回発行 <http://www.icpaea.net/>